

平成 20 年 1 月 31 日

各 位

会 社 名 ラックホールディングス株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 三柴 元
 コード番号 3 8 5 7
 (大証ヘラクレス、ジャスダック)
 問 合 せ 先
 取締役執行役員 経営企画室長 白石通紀
 電話：0 3 - 5 5 3 7 - 1 4 0 0

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、平成 20 年 3 月期通期(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)の業績予想について、平成 19 年 11 月 13 日付「平成 20 年 3 月期の決算に関する情報」にて公表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 20 年 3 月期通期業績予想数値の修正

(1) 連結通期業績予想(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成 19 年 11 月 13 日発表)	22,319	2,019	1,752	1,004	35 円 5 銭
今回修正予想(B)	21,900	1,530	1,450	700	24 円 74 銭
増減額(B - A)	419	489	302	304	-
増減率	1.9%	24.2%	17.3%	30.3%	-

(注) 1. 当社の設立は平成 19 年 10 月 1 日ですが、連結業績予想につきましては、完全子会社となった株式会社ラックの財務諸表を引き継ぎ、期首に設立したものとみなして予想したものであります。

2. 上記連結業績予想は、子会社である株式会社ラックが決算期を 12 月から 3 月に変更したことから、株式会社ラックの平成 19 年 1 月 1 日から平成 20 年 3 月 31 日までの 15 ヶ月決算を反映することといたしました。

なお、上記連結業績予想に含まれる、平成 19 年 1 月 1 日から平成 19 年 3 月 31 日までの株式会社ラックの個別業績は、売上高 2,019 百万円、営業利益 329 百万円、経常利益 322 百万円、当期純利益 184 百万円であります。

3. 1 株当たり予想当期純利益(通期)の算出に当たっては、平成 19 年 10 月 1 日現在の発行済株式数を使用しております。

4. 平成 19 年 11 月 13 日発表の予想営業利益 2,019 百万円は、記載誤りにより 1,836 百万円に訂正いたします。これによる増減額は 306 百万円、増減率は 16.7%となります。

5. 平成 19 年 11 月 13 日発表の予想 1 株当たり当期純利益 35 円 5 銭は、記載誤りにより 35 円 51 銭に訂正いたします。

(2) 個別通期業績予想(平成19年10月1日~平成20年3月31日) (単位:百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成19年11月13日発表)	800	165	143	101	3円5銭
今回修正予想(B)	800	246	227	132	4円67銭
増減額(B-A)	-	81	84	31	-
増減率	-	49.5%	59.0%	30.8%	-

(注)1. 1株当たり予想当期純利益(通期)の算出に当たっては、平成19年10月1日現在の発行済株式数を使用しております。

2. 平成19年11月13日付「平成20年3月期の決算に関する情報」にて公表いたしました1株当たり予想当期純利益3円5銭は、記載誤りにより3円57銭に訂正いたします。

2. 業績予想修正の理由

(1) 連結業績予想

売上高

システムインテグレーション事業では計画をやや上回り、セキュリティソリューション事業では順調に増加しているものの、運用監視サービスが計画を170百万円下回る見通しであります。一方、グループ内取引による売上の内部相殺が予想を上回り235百万円となる見込みであることなどにより、連結売上高は21,900百万円(前回予想比419百万円減)となる見通しであります。

連結営業利益

販売費及び一般管理費において、のれん代の算入対象期間の錯誤によるのれん償却額の増加や、回収不能と見込まれる売掛金の貸倒引当金繰入額の計上、統合関連一時費用の増加のほか、M&A関連費用や新サービス開発のための調査・分析費用、営業部門の増員など事業戦略に伴う先行投資を行ったことにより、計画に対し経費が203百万円増加する見込みであります。

この結果、連結営業利益は1,530百万円(前回予想比489百万円減)となる見通しであります。

なお、今回の業績見通しの修正を公表するにあたり、平成19年11月13日付「平成20年3月期の決算に関する情報」で公表した数字を精査した結果、連結営業利益の見通しの記載に誤りがあり、正しくは1,836百万円であることが判明いたしました。このため、今回予想の連結営業利益との差異489百万円のうち、この記載誤りによる差異182百万円を除くと306百万円の差異になります。

連結経常利益

連結営業利益の見通しの修正により、連結経常利益は1,450百万円(同302百万円減)となる見通しであります。

連結当期純利益

税額計算における、のれん代に対する税効果の想定違い、過年度追加納税、貸倒引当金の税務上損金不算入などにより、税額が当初の想定より大幅に上回る見込みのため、連結当期純利益は700百万円(同304百万円減)となる見通しであります。

1 株当たり連結当期純利益

連結当期純利益の減少により、1株当たり当期純利益が24円74銭となる見通しですが、平成19年12月13日付「自己株式の取得に関するお知らせ」にて公表したとおり、1,600,000株、500百万円を上限とした自己株式の取得を実施しており、1株当たり当期純利益は改善の見込みであります。

(2) 個別業績予想

子会社との間での要員配置の変更により、労務費経費の計上先が変更されたことなどから、営業収益は前回予想と同じ800百万円となりますが、営業利益は246百万円(前回予想比81百万円増)、経常利益は227百万円(同84百万円増)、当期純利益が132百万円(同31百万円増)となる見通しであります。

今後は管理体制および仕組みを一層強化し、税計算を含めた見通しの精度を高めてまいります。

・業績予想に関する注意事項

当資料に記載する業績見通しにつきましては、現時点で得られた情報に基づいて作成しており、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる場合があることにご留意ください。

以 上